

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和7年11月18日

団体名 私市円山古墳を守る会

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	「私市円山古墳まつり」は綾部市の国指定特別史跡である私市円山古墳を守り、地域の活性化を図り、そして地域の文化や歴史への関心を深めてもらう事を目的としてまいりました。本年度は特に通常事業に加え市制施行75周年記念墳頂宝探しと銘打った事業を行います。多くの市民が墳頂に登り、より私市円山古墳の魅力を体感していただこうと考えております。 「第32回私市円山古墳まつり」の開催が上記の追加事業により、75周年を祝う機運をさらに醸成させ、地域の活性化に寄与するものと考えます。
事業の名称	第32回私市円山古墳まつり
事業費 （市補助金）	429,152円 （200,000円）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	会場の設営、イベント出演者への謝礼、宣伝広告費、消耗品他購入等
事業実施期日	令和7年11月3日（月・祝）
事業実施場所	私市円山古墳公園
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	豊里西部地区自治会（5自治会）の模擬店、豊里地区商工繁栄会の模擬店による地元産品等の販売を実施。また、舞台においては、地元高校生のブラスバンドの他、舞踊、太鼓、中丹文化事業団のふれあいコンサート等による多様な発表があり、古代の雅を味わうための「野点」等の催しも実施。今回は特別に市制施行75周年記念の墳頂宝探し大会を実施し、遊びの要素を取り入れることで子供たちが古墳に積極的に親しむ機会を創出。今回は綾部中学生4名のボランティア参加もあった。キッチンカーも招致する等、工夫を凝らし集客の向上を図った。 【来場者:約2,700人】
補助金の効果(成果) （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	当日は市内外からの多くの来場者により賑わい、このイベントをとおして、来場者同士および来場者と地元住民との交流が生まれ、地域の活性化が図れた。今年は市制施行75周年記念の宝探し大会を実施することで、実際に親子等で墳頂へ登ってもらい、貴重な歴史資源である私市円山古墳を体感してもらえた。パンフレットの配布も行い、市民の古墳への興味・関心が深まる機会とすることができた。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和7年11月18日
団体名 私市円山古墳を守る会
(単位：円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	200,000	200,000	
	会 費	68,000	65,500	@500円×131戸
	雑収入	75,000	54,000	祝儀、出展料
	自己資金	159,000	109,652	
	合 計	502,000	429,152	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	出演者謝礼	120,000	115,000	出演者8団体、司会1人
	委託費	180,000	177,000	音響設備委託77,000円、舞台設営等100,000円
	雑費	152,000	65,364	ビールケース借用3,000円、クリーニング代15,180円、保険料7,000円、レンタカー22,600円 会場設置資材17,584円
	宣伝費	20,000	17,424	市民新聞広告代
	会議費	10,000	4,000	会議室使用代等
	事務費	10,000	6,700	道路使用許可申請手数料2,400円、郵便料3,300円、ふれあい移動コンサート申込料1,000円
	手数料	0	1,540	770円、770円
	【対象外経費】 景品費	10,000	15,300	(対象外経費) 市制施行75周年記念墳頂宝探し景品代
	その他	0	26,824	軽トラ使用料（対象外分）等
	合 計	502,000	429,152	(うち対象387,028)
差 引		0	0	